

## 私のすすめるこの1冊

増田 真結(音楽科 講師)

### 『制作へ — 上妻世海初期論考集』

上妻 世海 (著)

「作曲をしている」などと公言することはいつも恥ずかしい。「自分の内面を感傷的に吐露する存在」というロマン派的なイメージがまだまだ根強いからだ。そもそも自分がやっていることは作曲なのか？筆を使った曲を発表するようになってから疑問を持ち始めた。西洋の楽器で作曲していた時は楽器を道具として捉え、私が音を動かしていた。しかし日本の楽器の場合は、自分がその楽器に「入り込み」、音がどう動きたいのかを内側から見つめないと何も書けなかったのである。確固たる自己などむしろ邪魔。そんな「私は私でなく、私でなくもない」という主客未分の状態について述べているのがこの本である。

本書は『制作する』という概念を制作すること』を主題としている。Web上で手軽に音楽や映画などに触れられる現代では、低価格で多種多様なものを消費することが可能になった。このような状況から筆者は「固定化された主体が、外側にある対象を横滑りにモデルチェンジしていく」ことを「欲望のサーキット」として問題提起し、「消費ではなく制作へ」、つまり、外側として見るのではなく内側から見ることへの転換が重要であると述べる。何やら難しいことに思われるかもしれないが、筆者は手始めに「興味のある人の伝記を読むこと」をすすめている。消費的に「ピカソが良い」で終わってしまうのではなく、ピカソがどのように形成されたか（たとえば当時の歴史や数学からの影響など）を辿ることによっ

て、自分の身体に「ピカソ」をインストールすることができる。そして、ピカソ的な身体から外側を見ることが可能になる。これが内側から見ることへの転換、すなわち「制作的な身体」の獲得へとつながると主張する。日々めまぐるしく通り過ぎていく消費対象によって受動的に固定されてしまった「私」が徐々に変化していく。

筆者はまた次のようにも述べている。「多くの人が勉強して頭良くなるとか、資格を取ったり身分を得ることを変化だと考えてる気がするんです。勉強ロジックでピカソの伝記を読んで、知識を取り込もうとしている。でも制作ロジックというのは、自分とピカソの間にある境目をなくすことなんです。いろんなものを身体に入れて「自分はこうしたいけど、ピカソはこうしないよな」って考えることができる。

(中略) そうやっっているんな人を自分のなかに持つというのは、自分の欲に従って生きない方法を身につけるってことでもあると思うんです。」制作は特定の能力を持った人間のみならず許されたものではない。それは自然や法則、作品や誰かの存在を迎え入れることのできる身体を備えるということだ。この大学では多様な人々、環境、生物に出会う。色々な対象が身体に入り込む。自身で想定できる程度の「個性」などさっさと霧消してしまえ。そう願いながら京都教育大学2年目の夏を待っている。

## 京都教育大学 それはかなう夢講座

「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

### 第17回のお知らせ

【日時】7月25日(木) 12:10~12:40  
 【場所】附属図書館1階 リフレッシュラウンジ  
 【講師】中村翼(社会科学科講師)  
 【テーマ】ラーメンをお酒とともに  
 一室町文化と日中交流—

おにぎり2個  
&お茶付き!  
先着30名

＜概要＞皆さんは、「禅」と聞いて、どんなイメージを持ちますか？「わび」「さび」といった美意識、茶道や能、水墨画といった芸術を思い浮かべ、日本の伝統文化(ZEN)の粋とする人は、きっと少なくないでしょう。しかし、そもそも禅宗の祖とされる栄西と道元は、中国留学を通じて禅を学んだし、多くの外国文化が禅僧によって日本にもたらされています。このように、禅僧たちは鎌倉・室町時代には「外国通」として鳴らしていたわけですが、実はお酒も大好きで、夜通しの宴会も珍しくありません。ラーメンもまた、舶来品として宴席の主役になりました。今回は、そんな禅僧たちの日記や詩文を紐解きながら、「わび」「さび」の世界にとどまらない、グローバルな(?)室町禅林の実態を紹介していきます。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための  
 カリキュラム開発」プロジェクト委員会  
 後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。



### ★ 日曜開館を実施しています

試験期間前の日曜日(7月28日、8月4日)を9時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひご利用ください!

### ★ リクエストと投票で 話題の本を読もう!

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています!リクエストや投票にどんどん参加してください!(リクエストは随時受付中です)  
 ※結果によっては購入できないこともあります。  
 ※学習研究目的のものは原則として購入します。

7月の投票期間は  
**7月1日(月)~7月13日(土)**

### ★ 夏季休業に伴う長期貸出について

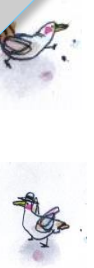
学部生：7月27日(土)~9月18日(水)  
 院生・教職員：7月13日(土)~9月3日(火)  
 【返却期限日】10月3日(木)  
 ※卒業・修了予定者は9月10日(火)まで

## 平成30年度利用統計

サービス統計		H30年度	H29年度
入館者数		89,445人	83,568人
貸出冊数		24,203冊	25,654冊
うち学生への貸出		19,716冊	20,584冊
図書貸借	依頼	110件	74件
	受付	222件	168件
文献複写	依頼	408件	409件
	受付	663件	680件
複写枚数(学外・学内)		17,887枚	18,009枚
レファレンス(参考調査)		1,065件	1,500件

蔵書冊数	H30年度	H29年度
図書	448,742冊	441,150冊
うち開架図書	310,261冊	304,286冊
雑誌	6,742種	6,629種
新聞	14種	15種

図書館をたくさん  
利用しよう!



## ★ 図書館中庭ミニコンサートが 開催されました

6月6日(木) 13:30 から附属図書館の中庭で、音楽科の山口博明教授と器楽基礎演習受講生のみなさんによる、トーンチャイムやリコーダーのミニコンサートが開催されました。京都教育大学学歌やスタジオジブリの映画音楽など、よく知られた曲で心癒やされる音色が響きわたりました。



## ★ 学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？理系の内容に限らず、それ以外でも「授業や勉強についてどうしたらいいのかわからない…」と感じたときは気軽に来てください。

【場所】北館2階 ラーニング commons

【時間】16:30~18:30 の該当時間

※実施日時は、図書館ホームページやラーニング commons など図書館の掲示でお知らせしますので、最新情報を確認してください。

**どんどん利用してください！**

※7月最終週(8月2日迄)で一旦終了しますが、また10月から開始します！



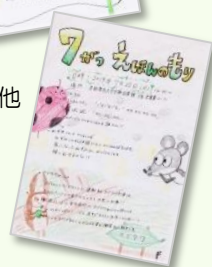
## ★ 蔵書点検を行います

図書館は受け入れた図書がきちんとした場所にあるかどうかの点検を数年毎に行っています。順番に館内の点検を行う予定にしておりますので、作業の際に図書を動かす音やピッという音がでるかもしれません。また、一時的に利用が不自由になる場合も想定されます。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【実施場所】西館3~4階・東館の図書および製本雑誌

【実施時期】2019年7月~2020年11月末

## 児童書コーナー (南館1階) 学生作のチラシ



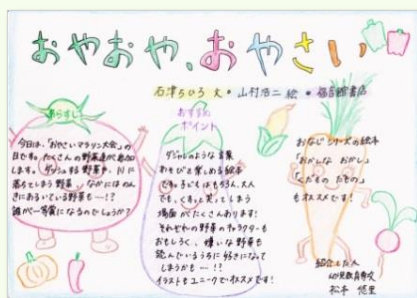
学生による絵本のよみかきせ

- ★7月1日(月) 14:00~14:15 『きょうのおべんとう なんだろな』他
- ★7月22日(月) 14:00~14:15 『てん てん てん』他

### 今月の絵本カード(学生作)

『おやおや、おやさい』

文：石津 ちひろ 絵：山村 浩二 出版社：福音館書店



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

## ★ 企画展示室の利用について

企画展示室は「教職員・学生等の研究等の成果物や、教育・研究に有用な作品等を展示することにより、教育・研究の活性化並びに地域社会との交流することを目的」に設置されています。展示にご興味ございましたら、利用について図書館事務室までお問い合わせください。

過去開催された公開展示：研究発表(e-Project)、写真展、作品展、美術展、ミニ博物館 など

## 教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品  
展示場所：図書館



「昭和御大礼掛図」  
(4~7月展示)

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。

教育資料館まなびの森ミュージアム  
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **田爪 宏二**(教育学科 准教授)

### 保育者養成短期大学の学生における実習経験に対する保育者効力感の影響 —実習の進行による変化—

田爪 宏二・廣瀬 真喜子

京都教育大学紀要. 2019, No. 134, pp. 93-105.

新しい幼稚園教育要領においては、幼児期の終わりまでに育ってほしい具体的な姿が示され、さらには、保育者（幼稚園教諭、保育士等）には家庭や地域における子育て支援など幅広いニーズに対応できる力も求められており、保育者を養成する大学・短期大学等においてはこれまで以上に質の高い保育者の養成が課題となっています。

本論文では、保育者（幼稚園教諭、保育士等）を志望する短期大学生における、保育者効力感（保育場面において子どもの発達に望ましい変化をもたらす保育的行為ができるだろうという信念）が実習の経験（指導を受けた感想、実習で感じた不安など）に及ぼす影響、および実習の進行に伴うその変化について分析を行いました。その結果、まず、実習の進行に伴い保育に対する自信が獲得されていくこと、その一方で実習に対する不安が低下することが示されました。また、保育者効力感が高いほど実習における指導教員からの指導を肯定的に捉えていることや、特に、保育の運営や計画に対する効力感を高めることが実習に対する不安を軽減する可能性が示唆されました。

本論文は、保育者養成短期大学の学生の特性を踏まえながらいかに質の高い保育者を養成するかという問題を扱っていますが、本学における教員養成に対しても示唆を与えるものであると考えられます。また、今後さらなる検討によって、保育者効力感の低い学生や、実習において過度に不安を抱えてしまう学生に対する教育的支援にもつながることが期待できます。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 134 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>でもご覧ください。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2019年7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

7/3 館内整理日

2019年8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8/5-8/9 前期末試験

8/10-9/30 夏季休業

8/15-8/16 夏季一斉休業

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.226 (2019年7月号)

発行日:2019年7月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp



国立大学法人  
京都教育大学  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION